

「第23回親林しんりんの集い」に出展しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 関東整備局

日時：平成30年10月20日（土）

場所：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター（茨城県日立市）

主催：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター

平成30年10月20日（土）に、森林総合研究所林木育種センターの一般公開である「第23回親林の集い」が開催され、森林研究・整備機構の一員である森林総合研究所、森林保険センターとともに森林整備センターもイベントに出展をしました。

このイベントは、「林木育種への理解を深めていただくとともに、地域との交流を図ること」を目的として毎年開催されています。

森林整備センターは、例年このイベントに出展して地域の皆さまに「水源林造成事業」の意義や森林の持つ公益的機能等をPRしています。

今年は、水源林造成事業の紹介パネルの展示・説明のほか、どなたでも参加していただける、間伐材を利用した木のコースターとうちわの絵付けを行い、ご家族連れや子どもたちなど多くの参加者に楽しんでいただきました。

特に、今回が初めてのうちわの絵付けが殊の外好評で、「去年までは、なかったね」、「絵を描くスペースが広くていいね」などの声が聞かれました。用意した併せて300枚のコースターとうちわは、お昼過ぎに品切れとなりました。

恒例の漢字当てクイズは、幅広い年代の方が興味を持って参加してくださりました。就学前と思われる子供さんが、チャレンジしている姿もかわいらしい限りでした。

そのほか、様々な出展の中で、特に参加者の目を惹いたのが、地元の保育園・こども園・中学校の子供達による鼓笛隊や和太鼓、吹奏楽の演奏でした。指導者の指示を真剣な面持ちで聞きながら演奏を披露している子供達の姿に、私達も胸が熱くなりました。

爽やかな秋晴れのもと、多数（1,091名）の方にご参加いただき、このイベント並びに林木育種センターが地元の皆様に溶け込んでいることが実感でき、有意義な時間となりました。

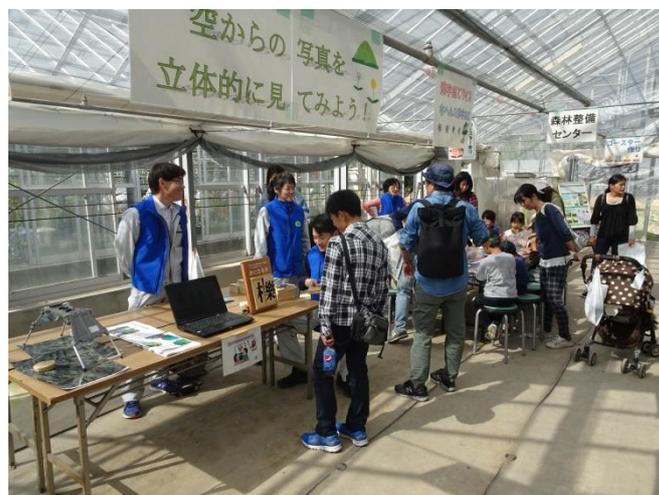
今後も関係機関と連携し、森林研究・整備機構および森林整備センターの事業を知っていただけるよう努めていきたいと思えます。

【 出展内容 】

- ・業務紹介映像 ・森林の調査道具（反射鏡式実体鏡）の展示
- ・水源林造成事業等の紹介（パネル展示）
- ・事業の概要、水源林造成事業（パンフレット）の配布
- ・間伐材を利用した木のコースターとうちわの絵付け ・漢字当てクイズ



間伐材を利用した木のコースターとうちわの絵付け



- ・漢字当てクイズ
- ・森林の調査道具（反射鏡式実体鏡）の展示
など